

# ▲ 牛農家のみなさまへ ▲

届出伝染病

## ランピースキン病

国内で初発生

国内で、2024年11月6日に発生が確認されました

Point

ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

### ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁  
皮膚の結節  
泌乳量の低下  
リンパ節の腫大



疑わしい場合は  
直ちに連絡！

写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所  
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

### ランピースキン病の侵入防止対策

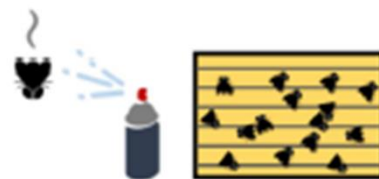
#### 01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。  
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、  
出荷、移動時は健康観察を徹底。



#### 02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、  
粘着シート等も活用。



#### 03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

疑わしい症状を見つけた場合は家保に連絡してください  
宮古家畜保健衛生所 TEL：72-3321